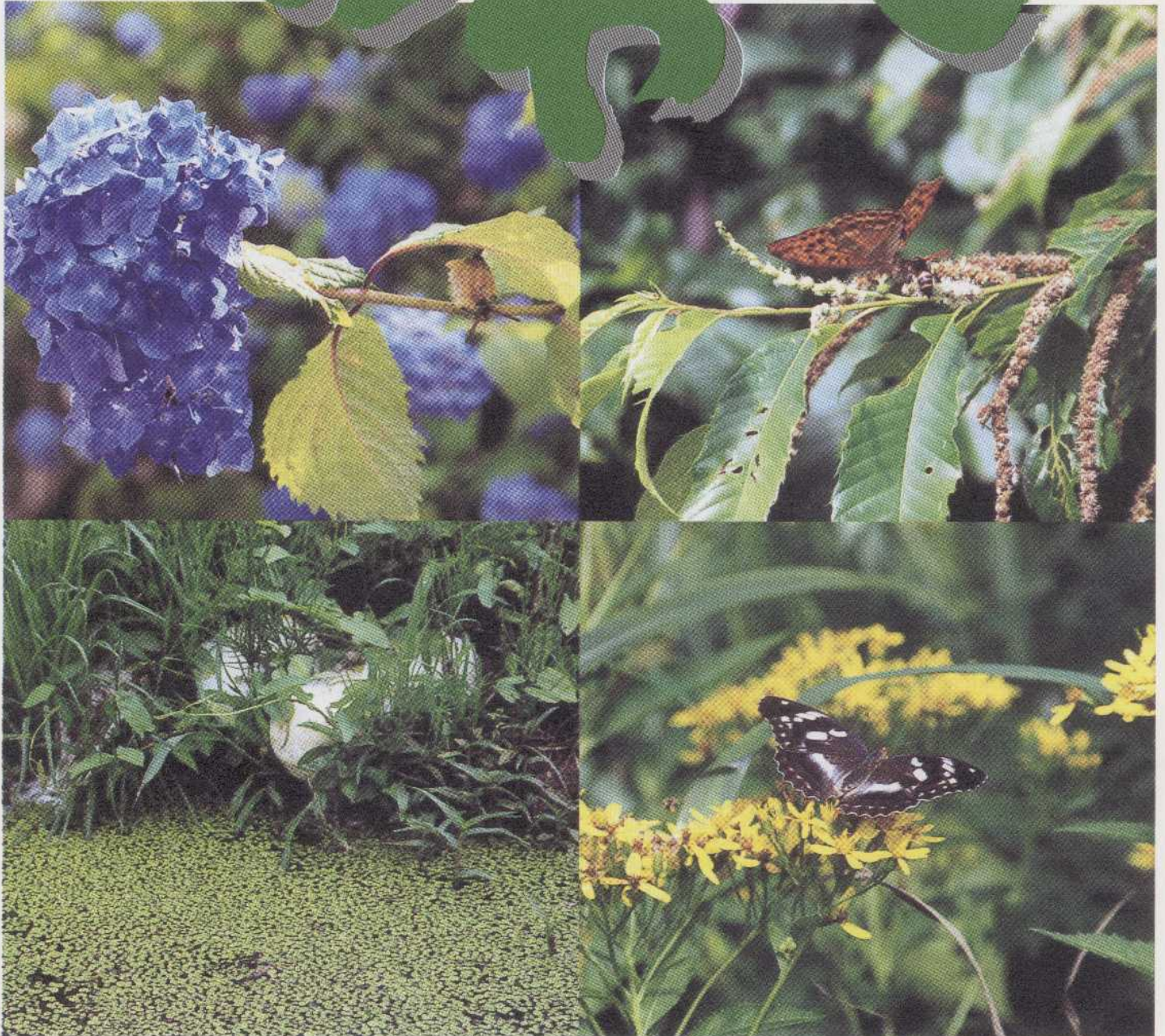


広報

かわし

NO. 515

平成13年7月10日



動きはじめた いのちの世紀



〒948-0192 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 TEL0257-68-3111 FAX0257-68-3828
発行・編集 川西町役場総務課 E-Mail:kawanisi@mail.tiara.or.jp (毎月10日発行)
URL <http://www.town.kawanishi.niigata.jp/>

人口の動き

—7月1日現在—

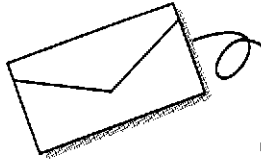
男 4,089 (-4)

女 4,196 (-4)

計 8,285 (-8)

世帯数 2,300 (0)

() は前月比較



お寄せください あなたの 意見・提案・質問

♠ 表紙の写真 ♠

うっとうしい梅雨の季節ですが、野や山に出かけると、新しいのちの営みに出会うことができます。

上段右の写真は、並んでヤマグリの花の蜜を吸うミドリヒョウモン（オス）と、ヒメスズメバチ。<越ヶ沢>

上段左は、アジサイの葉の下で巣作りに励むフタモンアシナガバチのメス。<霜条>

下段右は、ハナニガナの花の蜜を吸うメスグロヒョウモン（メス）。<田戸>

下段左は、あぜ草の中に産み付けられたモリアオガエルの卵。その前で、卵を守るようにウキクサの蔭から顔を出しているのは、なぜかトノサマガエル。<星名新田>

おっかないハチや、気味悪がられるカエルも、こうしてみると「新しいのち」を育てるために一生懸命で、とても美しいものですね。

町では、皆さんの「意見や」提案をまちづくりに生かしていきたいと、「まちづくり」についての「提言や意見」をいただいています。これまで届いたものの中から、差出人が明らかなものや、紙面で回答する必要のあるものを、内容を抜粋して紹介します。

合併で住民サービスを確保しよう

(84歳・男性)

- ①十日町市と合併しても、公共施設は十日町市へ移さないでほしい。(むしろ充実してほしい)
- ②ダムの水を消費、ハイブに利用できないか。
- ③千手温泉に低温浴槽をつくってほしい。
- ④手頃なスキー場をつくってほしい。

⑤商店が減らないように商業活動を活発にしてほしい。

合併はまだ白紙

●合併問題については、県が本年二月に「新潟県市町村合併促進要綱」を定め、県下百十一の市町村数を二十一にするという合併パターンを提示したことから、にわかに関心を持ち、さまざまな形で議論が始まっています。

また、「いつまでにどうする」ということについては、合併について各種支援策を定めた「市町村の合併の特例に関する法律」の期限が平成十七年三月末までであることから、一つの節目になるとは

考えています。

しかし、合併問題は、住民の皆様の生活に直結する大問題であり、後顧の憂いが生じないようにしなければなりません。

現在の考えでは、合併する、しないは白紙です。

また、平成十七年三月末には特別こだわっていません。大切なことは、合併すること、又はしないことの影響として、住民の皆様の幸せ感が、どう変わっていくのかを検討することにあると思っています。

今後の対応としては、関係市町村との協議の状況や、住民の皆様との議論の推移を見守りながら、適切なリーダーシップを取っていきたいと考えています。

は、貴重なものとしてとらえています。仮に合併するとならば、行政サービスが低下しないよう、さらには合併のメリットが大きく生じるよう、合併条件として関係市町村と協議する事項になるものと考えます。

町としては、このような形で多くの皆様のお考えが表明されることを望んでいます。今後とも、住民の皆様が自ら議論し、適切な判断ができるよう、広報などを通して情報提供をしていきます。

水の有効利用を推進

●現在、道路除雪は機械を中心に、人家連たん地区では消雪パイプ除雪で対応しています。

消雪パイプも年々増設され、多量の地下水を汲み上げています。

— contents — 主な内容 — contents —

- P 2~3
- ⇒お寄せくださいあなたの意見
- P 4~5
- ⇒特集 <天神ばやしはどこから来た?>
- P 6~9
- ⇒議会報告 / — TOPICS — まちの話題
- P 10
- ⇒フォト散歩 / ズームアップ役場
- P 11
- ⇒おらムラの話
- P 12~15
- ⇒募集・お知らせコーナー
- P 13~14
- ⇒里創プラン / 千手温泉 / 生涯学習
- P 15
- ⇒俳壇 / くらしとけんこう ほか
- P 16
- ⇒戸籍の窓 / ちいさな展覧会 ほか



着々と工事が進む千手温泉

この結果、水位低下が目立ち水量不足が生じて、これ以上の増設は難しい状況にあります。

そこで、消雪パイプを補完したり、さらに雪処理機能を高める施設として、流雪溝の整備を進めています。

ご提案いただきましたダムの貯留水は、冬期間は使用しておりませんので、これを流雪溝用水として活用すべく、関係機関と協議しています。

〈楽しみな新しい温泉〉

③温泉施設は今年十月二十三日の完成を目指して建築中です。現在、既に屋根建築にとりかかっています。ここまですますと設計変更は難しい状況ですし、スペースからみても増設は困難です。

浴槽は、一般風呂、露天風呂、家族風呂を計画していますが、この三つの風呂の組み合わせで、低湯も必要かどうか検討します。

〈スキー場は広域対応で〉

④交通の利便や標高、斜面の勾配、雪質などの条件を考えると、当町は本格的なスキー場を計画するには適地とは言えません。集客能力にしても疑問がもたれるところです。

川西町では、ファミリー対応の角万寺スキー場を整備してありますし、クロスカントリースキー場として、中子台地を整備して小学校・中学校の生徒に開放しています。

近隣に設備の整ったスキー場が多数あり、交通アクセスも、最近では夏場とあまり変わらない状況です。本格的なスキーを楽しむ場合は、そちらを利用していただきたいと考えています。

〈消費者も協力を〉

⑤商店の活性化は、町の活性化に直結する重要な課題です。

現在、県道の街路整備計画も含め、千手温泉のリニューアルと合わせて商業振興を日指す「賑わい空間創出事業」を町の一大プロジェクトとして進めているところであります。

当然、商工会や商店の皆様とも、商業発展・活性化策について連日のように検討を行っています。仙田地域でも、仙田体験交流館と合わせて道の駅も七月十五日に

はオープンする運びとなっております。

上野地域でも、国道の改良計画が実施に移されていますので、その計画と平行して、商店の活性化計画も、真剣に協議していかねばならない重要な課題と位置づけています。

ただ、商業振興は商業界や行政だけでなく、消費者も積極的に関わらなければ成しえるものではありません。住民の皆様も、地元消費や、情報提供等にご協力くださるようお願いいたします。

〈脱！カタい役場〉

①役場の窓口などで「こじこじは」等のことばをかけてほしい。
②玄関に美しい花があつて、心が和んだ。

(匿名)

①窓口にお越しいただいたときの様子と、あいさつの大切さを提言としてお寄せいただきましたが、私も常々同様のことを考えています。さわやかなあいさつが交わされ、町中に活気が満ちることを期待しています。

役場のイメージを、堅くて気兼ねをするところと感じている方は多いかも知れません。役場に直接用事があることは年に何回もない

ために、とりわけ足が重いとところと感じるのではないのでしょうか。

窓口へお越しいただいた際は、あいさつがなかったのでしょうか。それとも小声のあいさつだったのでしょうか。事務を執っているところを向いているためにお客様がいらっしやうたことに気付かないことがあります。こうしたときには恐縮ですが声を掛けていただければ幸いです。



さわやかな対応が求められる窓口業務

な声でするのがよいのですが、窓口にはいろいろの届けがあります。時にはしんみりとした言葉掛けが必要な場合もありますので、その点をご理解をお願いいたします。皆様から気軽に利用していただくために、役場ではあいさつの輪の広がりを図っているところであります。

今年度からは、その成果を「接遇チェックシート」によって定期的に判定するシステムもとりいれました。これによって、職員は庁舎内だ

けでなく、地域に戻っても自然と皆様に声掛けができるようになるものと期待しています。

②正面玄関を入ったところに、最近まで満開のさつきの鉢植えが飾ってありましたが、例年この時期に、さつきの盆栽のベテラン職員が、自主的に五、六鉢飾ってくれます。窓口にお越しいただいた方からは、しばし心の温もりを味わっていただいているところでありますが、このことは広報かわにし六月号に掲載してありますのでご覧ください。また、現在は別の職員による盆栽を置いてありますので、こちらも楽しんでいただければ幸いです。

今回いただいたあいさつに関するご提言を踏まえながら、全職員が明るく、さわやかなあいさつを心掛けるとともに、気楽にお越しいただける役場となるように環境を整えて参りますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

●お・ね・が・い●

このコーナーでは、皆さんの素朴な疑問や種々なご提言をお待ちしています。広報の四角目にご添付していただく提言用のハガキは、役場の窓口にも用意しておりますのでご利用ください。

なお、提案・質問等は宛でも結構ですが、個人攻撃や口撃等はご遠慮ください。また、匿名の場合は直接の回答ができませんし、紙面でもご紹介できないことが多いことを承知おきください。

天神ばやしはどこから来た？

「天神ばやし」は妻有地域では誰もが知っている郷土唄です。では、天神ばやしはどこで生まれて、どの範囲でうたい継がれているのでしょうか。「そら、おちほだけだこつお。」という声が聞こえてきそうですが、ほんとにそうでしょうか？

長年、天神ばやしをはじめとする民俗芸能の研究をされている大島伊一氏（十日町市水野町）に、そのルーツや分布、魅力などについてお話をうかがいました。

●解説者紹介

大島 伊一（おおしま たかす）
昭和七年十日町市生まれ。

印章店経営のかたわら、若い頃から郷土の芸能や歴史について研究を深め、十日町市博物館友の会の会長を長年務める。

現在、十日町市文化財保護審議会委員、警女唄ネットワークイン十日町代表ほか、多数の役職を兼ねて活躍中。

今月下旬には、各地の天神ばやしを収録したCDとセットの「魚沼の祝い唄「天神ばやし」」を出版予定。

古くて広い！

Q. まず、「天神ばやし」を研究してみようと思われたきっかけについて教えてください。

A. 私だけでないでしょうが、小

さい頃から歌舞音曲に接する機会が多く、自然と興味を持ちました。

いろいろ勉強していくうちに、特に面白いと思ったのは、歌詞が近世歌謡とは違うところでした。

Q. 具体的にどう違うのですか？

A. 現在の民謡の八割から九割までが、近世小唄調と呼ばれる七七

七五調を基調にしているのに対して、天神ばやしの原唄の詩型は、

「めでたいものは（七）大根種

（五）花咲いて（五）実りて俵

（七）重なる（四）」で、七五七七

四という非常にめずらしい詩型になっていて、特に、最後が四でおさまることが興味深いものです。

これは室町歌謡に出てくる古い唄の特徴ともいえるものです。



「天神ばやしの魅力は、老いも若きもいっしょにうたえること。」という大島さん

のがきっかけで、五十二年頃まで各地に出かけて採録しました。

県内はもとより、長野県や千葉県、伊豆大島にまで出かけました。

Q. すると天神ばやしはこの地域独自のものではないのですか？

A. そうです。十日町圏域の分布でいえば、十日町市と川西町は全域、津南町は卯の木や鹿渡地区、

中里村は荒屋を除くほぼ全域、松代町は背刈に伝わっており、松之山町には伝承されていません。

さらに近隣では、高柳町と小国町の一部、片貝地区を除く小千谷市全域、長岡市蓬平、山古志村、堀之内町、小出町、大和町、六日町、塩沢町にも分布しています。

県外では、長野県、山梨県、神奈川県、東京都、千葉県などにその系譜が伝わっています。

伊豆大島にも、天神ばやしそっくりの唄があります。

ルーツは「どこだ！」

Q. ものすごく広い分布ですね。そうすると、そのルーツはどこか、ということになるのですが。

A. 私たちもそれを求めて旅をしました。点から線にする旅です。

まず、文献で、この唄の系譜が、現在うたわれている、祝い唄から労働唄、神事唄にさかのぼること

とがわかっていましたから、各地で収録しながら、神事にまつわる伝承を調べていきました。

千葉県市原市の菊間八幡宮には、室町時代頃の神事唄として「めでたきものは、そばの花、花咲き実りて、みかどとなるぞ、うれしき」というものが唄われていたという記録があり、ここを訪ねましたが、残念ながら、現在は伝承されていませんでした。

同じ千葉県佐原市の香取神宮には、毎年春にお田植祭の神事があり、この稲作豊穰を祈る祭事は、伊勢神宮、住吉大社と並んで日本三大田植祭とよばれています。

この祭事にうたわれる唄の中に、「めでたいものは、芋の種、くき長く、葉広く、子をふやす」というものがあり、十四世紀から伝わるこの行事は、今も連続して続けられています。

Q. ついにルーツ発見！ですね。すると、伝播の経路もわかったのですか？

A. おそらく、今から六百年ほど前に上総地方（現千葉県）で神事唄としてうたわれていたものが、次第に作業唄・労働唄として一般に広がり、関東一円から甲州、信濃に入り、木曾谷や千曲川沿いに伝わって、江戸時代の半ば頃には祝い唄に移行し、定着していっ

たものと考えられます。

したがって、このあたりの天神ばやしは、信州から信濃川を下って伝わったと考えていいでしょう。

ただ、おもしろいのは、この地域が伝播の北限で、しかも一番色濃く残っているということです。

何で大根種なの？

Q、「めでたいもの」には大根種のほかに、そばの花、芋の種もあるようですが？

A、「大根、そば、芋」は、古来めでたいもの代表格とされて、「三つ揃え」とか「三つもの」と呼ばれていました。松竹梅や鶴亀がめでたいものの代表になるのは後になってからです。

そばは、赤い茎と白い花で紅白、また、種に三つの角があり、これが三角（みかど）＝帝につながることからめでたく、芋（八つ頭）は、茎が長く葉が広く子（芋）がたくさんついて子孫繁栄でめでたいものとされています。

Q、肝心の大根種は？

A、大根は、古名をすずしろと呼んで、春の七草に数えられています。長期保存に耐え、凶作に備えるために古くから栽培されてきました。

畑で越冬した大根は、五月に花をつけ、六月に結実しますが、その種の一粒一粒は俵の形にそっくりです。そして、その俵の種が集まった実の成り具合は、俵が重なるイメージにぴったりです。

大穂種は大間違い！

Q、たまに「大穂種」とうたっていることがあるようですが？

A、これは、本来の歌詞を無視した、とんでもないまちがいです。

実は、これをつたいはじめたのは十日町市野中生まれの人で、明治の終わり頃にある酒席でうたったのがこの始まりのようです。

本来の意味がわからず、雰囲気だけで勝手にこじつけたものです。

皆さんは、大きな声で正しく「大根種」とうたってください。

Q、「天神ばやし」という唄なのに、多くの地域では「大根種」の歌詞をうたっている「天神ばやし」をうたうことが少ないのはなぜでしょうか？

A、「天神ばやし」の梅の花、一折手折めて笠にさす、笠にさそさより、鳥崎女郎の

手にあげよ」という歌詞が、文献等にあらわれるのは、明治も二十年代になってからです。

詩型も八五八八五の特殊なもので、成立年代は「大根種」より後のものです。

分布は、十日町市下条地区を中心に、中条、小千谷市岩沢、信濃川を渡って小千谷市真人、川西町橘地区、白倉などです。

このエリアは、この歌詞が伝播した当時の、通婚圏だったとみることができま。

下条原村には妻有地域唯一の天満宮（天神様）があり、その裏手

に梅林があつて、春の例大祭には梅の花の下で宴を張り、天神ばやしをうたつたと伝えられています。

ここが発祥の地だという確たる証はありませんが、酒席で即興でうたわれたものが、字あまりの難しい文句ながら、語呂の良さや艶っぽい雰囲気や宴席に合うことから口コミでどんどん広がり、いつしか「天神ばやし」の呼称が定着したのではないのでしょうか。

江戸末期から明治始めにかけてのことと考えられます。

ところで、この歌詞をうたう地域のほとんどで「天神ばやし」のことを「テホジンバヤシ」あるいは「テホージ」と言っています

が、私は、この地域を「テホージ文化圏」と呼んでいます。

Q、ふだん何気なくうたっているのですが、それぞれのうたいかたに意味と歴史があるのですね。

ところで、これほどポピュラーな唄なのに、どうして地区ごとに唄い方や節回しが違うのですか？

A、天神ばやしは、地域ですつとうたい継がれてきた本物の郷土唄です。本物の唄だからこそ、その地域ならではの節回しや習慣が伝承されてきているのです。

今、「民謡」といわれてうたわ

に梅林があつて、春の例大祭には梅の花の下で宴を張り、天神ばやしをうたつたと伝えられています。

証はありませんが、酒席で即興でうたわれたものが、字あまりの難しい文句ながら、語呂の良さや艶っぽい雰囲気や宴席に合うことから口コミでどんどん広がり、いつしか「天神ばやし」の呼称が定着したのではないのでしょうか。

江戸末期から明治始めにかけてのことと考えられます。

ところで、この歌詞をうたう地域のほとんどで「天神ばやし」のことを「テホジンバヤシ」あるいは「テホージ」と言っています

が、私は、この地域を「テホージ文化圏」と呼んでいます。

本当の民謡とは？

Q、その本当の民謡である天神ばやしの自慢大会「天神ばやしワールド」が、八月四日にナカゴグリパークで開かれるわけですが、こうした試みはどうですか？

A、意義のある、とてもいいことだと思います。私もおしゃまして、若下、天神ばやしの解説をさせていただきます。

その際、各地で録音した天神ばやしを、いくつか紹介したいと思います。

Q、それは楽しみです。「伊豆大島」のためだきもの」なんて、是非聴いてみたいですね。

Q、それは楽しみです。「伊豆大島」のためだきもの」なんて、是非聴いてみたいですね。



「天神ばやし」には様々なタイプがある（上野の「天神ばやし保存会」の発表）



一級印章彫刻技能士でもある

◆議会報告◆

六月二十二日から始まった第二回川西町議会定例会は、二十七日に全日程を終え、閉会しました。

二十二日は、諸般の報告や、八人による町政に対する一般質問が行われました。

二十七日は、「川西町税条例の一部を改正する条例」ほか一件の条例改正、「川西町介護保険特別会計補正予算」、「新潟県町村人事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約の変更」ほか二件の規約変更の専決処分承認が行われたあと、議案審議を行いました。

まず、「川西町乳児の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例」ほか三件の条例改正が原案どおり可決されたあと、「平成十三年度川西町一般会計補正予算（第一号）」ほか三つの特別会計補正予算が原案どおり可決されました。

今回の一般会計の補正内容は、四月一日付けの人事異動に伴う人件費の調整、賑わい空間温泉施設建設工事の変更に伴う所要額の調整などが主なもので、五、七三〇万九千円が追加され、総額は一億百三十万九千円となりました。

次に、町道路線の変更、自動車事故による損害賠償の額を定めることが原案どおり可決されました。

続いて、「地方交付税制度の見直し」や「道路特定財源制度の見直し」等に関する意見書提出についての発議案五件が、全会一致で可決され、小泉総理大臣ほか、関係省庁の大臣あて意見書を提出する運びとなりました。



「挙手全員」で議案が可決される瞬間

なお、二十二日に行われた一般質問の内容については、七月二十日発行の「こんにちは議会です」の中で詳しく紹介されますので、ご覧ください。

TOPICS まちの話題 TOPICS

草取りだってアートだ！



チーム一丸となって草を取ります

6月2日、ナカゴグリーンパークで、川西中学校2年生全員（79名）の参加による「草取りボランティア」が実施されました。

これは、「草取りボランティアの体験を通して、地域の一員としての自覚を高めるとともに、緑を愛する心を養う」ことを目的に、同校の総合学習「緑の環境教育」の一環として行われたものです。

この日は、4班に分かれて、昨年の2年生が植えた6種類のフヨウのまわりにはびこった雑草を、鎌できれいに取り除きました。

約20分、1,000本を越えるフヨウの草取りは、約1時間半で終わりますが、中には、草を芸術的に残したり、終始鎌を使ったパフォーマンスを繰り広げていた生徒もいたとか。

6月5日、高橋惣治さん（室島）に上寿（100歳）のお祝い品が贈られました。高橋さんは、明治34年6月5日のお生まれで、町の長寿者の中で3番目となります。

若いころは医者通いが多かったという高橋さん。昨年は体調を崩しデイサービスに通い始めたものの、たちまち元気を取り戻し、今ではひとりで何でもこなせるようになりました。天気の良い日は外へ出て、ひなたぼっこをするそうです。

毎朝、新聞を読むことが日課で、驚いたことに、今でも筆を持ち、ひまさえあれば書道を楽しんでおられるとのこと。この日も、上寿を祝う詩を披露してくださいました。

高橋さんは、「今思い返せば親の心が一番ありがたかった。まずは先祖、次に両親を敬え。」とおっしゃっていました。

背筋をピンと伸ばし、スーツをびしっと着こなす様子は、人生を研究し、道を究めた博士のようでした。

百歳の博士誕生!?



高橋さん作・祝い百寿「八十歳で坂を登り、九十歳で無事になり、百歳で健康を保つ」

夏が楽しみ！花の競艶



成果をそのまま持ち帰られるハンギングバスケットは大人気！

6月3日、ナカゴグリーンパーク芝生広場で、第3回花のアート講習会が開催されました。

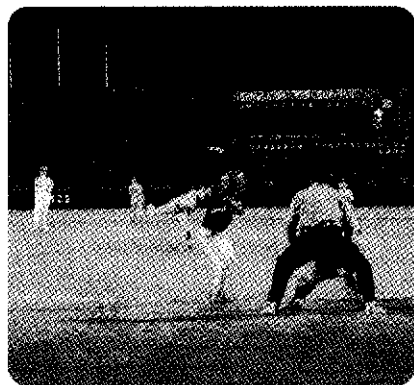
この日は、第1回から第2回にかけて検討した庭や畑を花で彩るアートプランについて、参加者それぞれが発表したあと、お目当てのハンギングバスケット（吊り下げ可能な寄せ植え）づくりに取り組みました。

会場では、「どの花が背が高くなるんだっけ？」「ちょっとくっつき過ぎかな〜。」などと終始楽しい会話が飛び交っていました。

「花のアートコンクール」に出品する、しないにかかわらず、この夏は玄関や窓辺を花で彩った家々が、道行くひとたちの目を楽しませてくれそうです。

気持ちちはメジャーリーグ!?

六月四日〜六日の三日間、第二十三回新潟県スポーツ少年団軟式野球交流大会川西町予選会が、庚塚運動場を会場に行われました。



「一球入魂!」「好球必打!」

出場チームは千手タイガース、上野ホークス、橋ドラゴンズで、中魚沼郡予選大会出場をかけて熱戦が繰り広げられました。特に、第二試合の上野ホークス対橋ドラゴンズ戦は、六回を終わって四対四の同点、さらにエクストラインクでも五対五のまま決着がつかず、ジャンケンで橋ドラゴンズの勝利が決まるというシーソーゲームでした。

このゲーム、選手たちよりはむしろ、応援に詰めかけた父兄の方がアツくなっていたようで、「よし、ガツンといけー」「とべとべとべ〜。」と盛んな声援を送っていました。

結果は、千手タイガースが二勝〇敗一位となり、中魚沼郡予選大会に進みました。

空手の田辺君県大会優勝!

第十七回新潟県少年空手道選手権大会が、六月十日、下田村総合体育館で行われ、田辺貴大君（南台）が小学生四年男子形で見事優勝しました。

田辺君は、小学校一年生から空手を始め、吉田小学校体育館で開催される空手教室にほぼ毎日通って今回の快挙に結びつけました。

今回の大会では「練習よりさらに気合いが入って、声が出たのがよかった。」と優勝できた理由を自分で分析してくれました。

空手教室で指導にあたっている人田仁さん（十日町市稲葉）は、「田辺君は素直でコツコツやるタイプ、毎日の努力が結果に出た。」と、田辺君の地道な積み重ねが優勝に結びつ

いたことを説明してくれました。

田辺君は、これからも精進を重ね、八月五日に東京・駒沢オリンピック公園体育館で開催される全国大会に出場します。「全日本も気合いで頑張ります」と最後に力強く語ってくれました。



力みなぎる田辺貴大君の形

私はこの住狸?です!

上野集落の西側（通称西浦）周辺に狸が住みつき、ちょっとした話題になっています。

この狸、ある民家の縁の下をすみかに、親子で周辺を歩き回って食糧調達をしているようですが、決まって夕方の七時頃になると出かけて行くとのこと。

隣家の庭の決まったコースを通過して道路を渡り、その先の林を通りぬけて夕暮れの中へ消えていくというのです。

人をおそれる風もなく、堂々と決まった時間に決まったコースをたどることから、近所のひとたちは「まるで重役出勤みて

だ。」と、かえって感心しています。

この狸の家族は数年前から住みついているようで、食糧調達はもっぱら近所の畑。ただし、一か所の畑を集中的に荒らすことはないようで、畑の所有者もいまのところ大目に見ているようです。

山が住みにくくなったのか、狸が人慣れしたのか、こんな状況が他でも見られるようですが、人間と狸、このまうまく共存できるといいですね。



「ここはオレの庭だ!」とわがもの顔の狸

伝統芸能継承に太鼓判！

6月17日、上野小学校体育館で「川西町無形文化財指定記念舞踊会」が開催されました。

後継者不足で活動を休止していた野口芸能保存会（村越正会長）が、20人を越える若手の加入に伴い、昨年からの活動を再開。これを受けて、千手露香（千手露香保存会・保坂トシ会長）とともに、獅子舞・剣の舞・壁塗りおけさが、昨年度、川西町としては初めての無形文化財の指定を受けました。

今回の催しは、これを記念して川西町芸能協会（金子澄男会長）が主催したもので、25組の団体、個人の演目が披露され、会場に詰めかけた約300人の観客を魅了しました。

文化財指定演目は、舞踊会の半ば、および最後に披露され、千手露香の格調の高い舞や、ユーモラスな壁塗りおけさ、勇壮な剣の舞などではひととき大きな拍手がわきまがっていました。



350年の伝統を伝える千手露香



二人の舞手の息がピッタリ合った獅子舞

消火はまかせろ！



積み重ねてきた訓練の成果を出し切ります

六月二十四日、川西中学校の駐車場で、平成十三年度川西町消防団春季消防演習・ポンプ操法競技会が実施されました。これは、川西町消防団（清水善三団長・団員二百五十名）が毎年この季節に行っているもので、今年で三十回を数えます。

第一分団から第六分団のそれぞれの代表六チームが出場し、日頃の鍛えた技術とチームワークを競いました。結果は、一位白倉、二位山野田、三位木落の上位入賞となり、優勝カップ、表彰状、賞品が、それぞれの成績に応じて授与されました。この競技会を見に来た近くの住民は、「皆さん、きびきびした動きでびっくりしました。頼もしい消防団がいて安心です。」と、感想を話してくれました。

でも、やっぱり、消防団のお世話にはならないように、日頃の「火の用心」が一番ですね。

始まりました 生ゴミリサイクル！

六月二十一日から、上野機械施設利用組合の一角で、生ゴミを堆肥化するリサイクルの試験事業が始まりました。

この事業は、昨年からまちづくり塾「川西結」が取り組んできたものを継承・発展させて実施しているもので、住民有志で組織する「有機の里川西」（上村源司会長）が取り組んでいます。

町では、この事業を、循環型社会をめざす新しい世紀にふさわしい取り組みとして「新世紀かわにし創造事業」に位置づけ、年間五百万円の委託料でバックアップしています。

有機の里川西では、早速、大型の生ゴミ処理機を導入し、約三百人の会員が提供する生ゴミや、豆腐店から提供されるオカラなどを処理し始めました。

この処理機は、約六百kgの生ゴミを二十四時間で約四分の一の量の堆肥にする能力があり、大型脱臭機も取り付けられていて、臭い対策も行っています。

できた堆肥は、会員のほか、小学校や保育園にも配り、その肥料を野菜などの栽培に利用することで、有機農産物の普及や環境意識の啓発に役立ててもらおうことにし

ています。

上村会長は「この輪をもっと広げ、環境保全、循環型農業が息づくまちづくりを自覚した。」と話しています。

生ゴミの収集は、十月いっぱいまではシルバー人材センターに委託して週四回行い、冬場は週二回を予定しています。

なお、生ゴミ処理機の能力は、まだまだ余裕があり、有機の里川西では、生ゴミを提供できる会員を募っています。

詳しくは、左記までお問い合わせください。

役場環境整備課 環境衛生係
☎68-3111 内線104



真新しい処理機は、操作もカンタン

ふるさとイベント大賞で大合唱！



上：「天神ばやし4重唱」を熟唱
下：「知事や市町村長を巻き込んでの「カントリーロード」大合唱

昨年開催された大地の芸術祭が、第五回ふるさとイベント大賞に輝いたことは、先月号の広報でお知らせしましたが、六月十六日、クロス10十日町で「ふるさとイベント大賞受賞フォーラム・交流祝賀会」が開催され、圏域内外からの多くの参加者でにぎわいました。この日は、「第二回大地の芸術祭企画発表」もおこなわれ、実行委員長である本田欣二郎十日町市長のあいさつの後、総合コーディネーターをつとめる北川フラム氏から、第二回の芸術祭の基本的なコンセプトが発表されました。続いて平山征夫新潟県知事が「昨年の芸術祭の閉会式での感動は、一生忘れ得ないものになっている。ひとつの力が小さくても、広域でまとまれば大きな力になる。」と、第二回に向けての期待を示しました。

また、芸術祭の期間中ボランティア組織として活躍した、こへび隊の代表は「芸術祭を通じて妻が好きになり、今でも通っています。第二回も関わりたい。」と、張り切って活動している様子を紹介しました。交流会では、各市町村で活動する住民代表から、今までの関わりや今後の取り組みについての発表があり、川西町からは、若手有志が、八月四日にナカゴグリーンパークで開催される「天神ばやしワールド」の紹介も兼ねて、天神ばやしのコーラスパフォーマンスを披露し、喝采を浴びました。また、フィナーレでは、圏域六市町村を紹介する曲「カントリーロード」を演奏・合唱し、知事や各市町村長も巻き込んだ大合唱が会場いっぱい響き渡っていました。

6月28日、千手小学校体育館で、緑の少年団結団式が挙行されました。

これまで、上野小学校5・6年生による「上野緑の少年団」(23名)が町内唯一の組織でしたが、今回新たに「わかぶな緑の少年団」(千手小学校5・6年生/79名)、橘緑の少年団(橘小学校5・6年生/36名)、仙田緑の少年団(仙田小学校全児童/34名)が結成されました。

これで、町内の全小学校にこの組織が生まれたことになり、全国的にも珍しい体制となりました。

結団式では、まず、真新しいユニフォームに身を包んだ団員たちが、町や学校の代表、来賓や森林事業関係者が見守る中に入場行進しました。

そして、田口町長の「森や木には、家などをつくるための働きと、大気の浄化など環境を守る働きがある。これからは、自然を観察し、守り育てていく活動を進めてほしい。」という言葉に続き、各団の団長に団旗が授与されました。

誓いの言葉では、上野緑の少年団の小林直樹団長が、「仲間を大切にします。大自然に学びます。汗して働きます。自然を守ります。自然の恵みに感謝します。」と元気に宣言すると、全団員が大きな声で唱和し、会場全体が生き生きとした空気に包まれました。

昭和59年に結成された上野緑の少年団の、18年にわたる活動の経過と、現在の取り組みについて、同団の小海菜奈副団長が発表すると、これから活動を始める新しい団員たちは、期待感とちょっぴり緊張感を漂わせた表情を浮かべて聞き入っていました。

4つの緑の少年団は、これから相互に連携をとりながら、学校林の育成や植樹、森林体験教室への参加など、さまざまな活動を展開していきます。

主管する農林課では、「学校内だけで終わる活動ではなく、地域と密接に関わる少年団に育ててほしい。」と、これからの発展に期待を込めています。

全町に！ 緑のじゅうつたん



真新しいユニフォームがまぶしい(仙田緑の少年団)



団旗を受け取る「わかぶな緑の少年団」団長の関口誠君



五月末から六月にかけて、町内の学校などで一斉に運動会が開かれ、楽しく、また緊張感のある競技が繰り広げられました。今回は、各小学校となかまの家の運動会におじゃましました。



近代五種競技正式種目!?「三輪車レース」
(仙田小学校)



日頃の親子コミュニケーションが試される?二人縄とび
(千手小学校)



「とられちゃった!」
「とっちゃった!」
騎馬戦は単純明快
(橋小学校)



心は「全玉入れ!」
現実「う〜ん...」
(上野小学校)



ボール送りならぬ「風船送り」
これが結構むずかしい(なかまの家)

ズームアップ役場

No.3

?? 稲泥棒虫?

転作の現地確認は、生産者にとつてあまりありがたいことではありませんが、担当する職員も結構大変なことがあるようです。

なにしろ、ほぼ一か月こればかりつきりになることから、急ぎの調査や米客があつても対応できず、あとで穴埋めが大変だとか。

でも、若



手職員にとつては、町をくまなく知るためのいいチャンス。ふだん足を踏み入れることもない山の中や川に入り?いろいろな知識を吸収できるからです。ちよつと会話を聞いてみましょう。

「この田は、イネドロオイムシが多いな」「え、稲泥棒虫?」

「イネミスズウムシもいるぞ。」

「は、稲の水虫?」

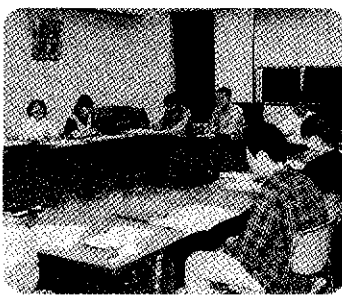
こうして転作のプロになるんですね。

あなたもなれませう 非常勤特別職

町には、いろんな分野について住民の皆さんから研究、審議、提言をしていただくための「付属機関」というものがあります。条例で設置が定められているもので、「〇〇審議会」とか「△△委員会」という名前がついています。そして、その会に所属する住民の皆さんの身分は「非常勤特別職」。

このほど、その付属機関のひとつ「かわにし21委員会」が開かれました。肩書き等のない若手?の男女十名からなる組織で、まちづくりに関する提言などをしていただいています。この委員会の提言で実現したものは「まちづくり活動支援事業」(補助事業)や、八月に開催される「天神ばやしワールド」などがあります。

若い職員も、研修を兼ねて参加しています。



木落の意味を考える

木落という集落名を考えると、「木を落としたところ」といつてしまえば、簡単におわってしまう。

しかし、落とす——という作業は、当然に人間のする作業であつて、木が落ちたところ——とすれば自然に起きた出来事である。また、誰がいつごろ落とすようなことを、どのような理由でおこなつたのかと考えると、木落の地名は、わけがわからなくなってくる。

津南町の秋山郷は山と木々に囲まれたところであるが、いまでも燃料にするコロ木を山道沿いに積んで、キニオ（木鳩）と呼んでいる。大風にあつたりして、キニオが恵方へ向かつて倒れると、よいことがあるなどという。恵方というのは、その年の縁起のいい方向のことである。

川西地方でも、雪消えを待つて共同山へ出かけ、家で使う一年分の薪を刈りとつていた。春木山といい、一斉に山へ行く日を山の口と呼んでいた。

上野の節黒城跡から見て北の方向に見える斜面で、木鳩場と呼ばれるところがある。このあたりは、昔、上野・新町新田・柵師・下平新田・寺ヶ崎の五か村共同入会山だったところである。刈り取った薪を積んでおいた場所であろう。

近くに木鳩場という地名もある。この急坂を、薪や刈稻を背負つて登るのは、たいへん難儀なことだったと、昭和初年ごろまでの話である。

仙田の室島地内に、同じ木落地名があるけれども、呼び名の理由はわからないという。木落集落を小型にしたような沢のある地形である。しかし、土地の形だけで付けられた名称でないことは明らかであろう。

上野の星名新田は、安政年間（一八五五頃）に開発されたが、

おらうらの話

(第三回)

上野 上村 政基

開発主である星名家の建築材料を運びこむとき、急な崖道をおりるのに大変な苦労があつたので、大

工棟梁の思い切つた判断によつて、崖から用材を滑らせて落とした。その坂を大物坂（だいまちぎか）と呼んで伝えていたが、いまはその跡も崩れて位置も明らかでなくなつた。

木落の村づくりは、ずっと古い時代であつたと考えられる。南北朝時代の梵字碑（板碑）があつたり、文明十八年（一四八六）に京都聖護院門跡の道興准后が、こゝで信濃川を越えた記録もある。

信州の武田信玄につながる人たちが移つてきて住んだという話も

伝えられているけれども、その時代はずつと後のことになる。

近くに大きな木々があるという地形とは見られないので、大昔の村づくりの際に、上から建築用材などを崖から滑り落としたのが、村の呼び名のもとになったのではないか。

——筏流しをする時代は、もつともつと後の時代であることを、付け加えておきたい。

大門と門前

昔は、個々の家と呼ぶのに初代の人の名を代々続けてきたり、庄

屋どんなどと立場を指して通称にしたり、また、コヤドン（紺屋）・バッチョ（番匠、大工）・イモジ（鋳物師、鍛冶）などと、その家の職業を呼び名にしていた。

しかし、ここ五十年くらいの間に、商店名や苗字をいうようになつて、歴史を物語るような古い屋号は少なくなつた。

お寺の前にあつて、寺の手伝いをするような家をダイモン（大門）と呼ぶ例があつたけれども、世の中が変わるのにあわせて、その呼び名の意味がわからなくなつたものがいくつもある。

何時のころになるだろうか、中仙田に寺があつて、大門原の地名が残り、大門の屋号（小林家）がある。いまの諏訪社の下方であるが、寺のあつた話はもう消えた。伊勢平治の大門（高橋家）は、こゝとどおりの位置にある。

仁田には、橋山広伝寺という寺があつて、その山号を採つて橋村の村名にしたと伝えるが、横大門の俗称地名があつた。大門（高橋家）は、寺跡と語られる場所からは二〇〇年も離れている。霜条の清龍寺前にあつて大門と呼ばれた高橋家は、寺との関係が想像されないところに移つている。

上野の藤巻医院から西に入つていく道は、寛文年間（一六六〇頃）に村立てした田麦新田にいく私道であり、草分けは太田麦（上村家）

と呼ぶ。「太田麦の大門は、長い通りだ」といつた話が伝えられているが、いふなれば大門通りともいうに相当するわけで、開発当時の様子がかがえる話である。

モンゼン（門前）も大門と同じである。伊勢平治観音の前に住んでいる家々と、長徳寺との間で、双方の協力内容や扱いなどを近代化しようと、明治初年に協定書が交わされている。門前百姓という立場を具体的に定めたものである。



千手観音仁王門

元町の門前（村越家）は、野口から移つてきて、長安寺の出入りという扱いで代々を勤めてきた。現在の住宅は、寺と離れているので門前という呼び名がピッタリしないようであるが、いまから五百年も前の節黒城主に関係がある興徳寺のあつたところであり、何かしらの理由があるのかもしれないと考へてみるのは楽しい。

本気のあなたが欲しい!
(町職員募集)
 一般事務(初級) 若干名採用の予定
 申込受付 7月27日(金)まで
 (郵送消印は7月27日まで)

能について、択一式の筆記試験と
 作文試験及び事務適性検査を行
 います。

携行品 受験票、HB鉛筆、消
 しゴムなど。ボールペ
 ンや万年筆使用は無効
 合格発表 十月中旬

2 二次試験
 試験日 十一月上旬
 (一次試験合格者に別
 途通知)

試験場 川西町地域活性化セン
 ター

方法 面接試験

【採用日】

平成十四年四月一日

【受験手続き】

申込書の請求先 役場総務課
 行政係

【申込書の提出】

受験申込書に必要事項を記入押
 印。写真(縦四cm×横三cm無
 帽・正面上半身)一枚をはり、
 ほかに二枚を添えて役場行政係
 へ。

【申込書の受付期間】

七月二十七日まで(郵送の場合、
 消印は七月二十七日まで有効)

【問い合わせ先】

役場総務課行政係

☎68-3111

【試験の方法】

高校卒業程度の内容で、地方公
 務員として必要な一般的知識と知

十日町地域広域事務組合
消防職員募集
 消防士 (上級及び初級)
 3人程度採用の予定
 申込受付 7月31日まで
 (郵便消印は7月31日まで)



十日町地域広域事務組合では、
 平成十四年四月一日採用予定の消
 防士(上級及び初級)三人程度を
 次により募集します。

【受験資格】

上級 大学卒業業者(来春、卒業
 見込み含む)で、昭和五十一年四
 月二日以降に生まれた者(平成十
 四年四月一日現在二十五歳以下の
 者)

初級 高等学校卒業業者(来春、
 卒業見込み含む)で、昭和五十一年
 四月二日以降に生まれた者(平
 成十四年四月一日現在二十五歳以
 下の者)

上級 初級共通事項

・身体強健で、大型自動車運転免
 許取得可能な者

・採用後、十日町地域広域事務組
 合管内(十日町市・川西町・津
 南町・中里村・松代町・松之山
 町)に居住可能な者

【試験の日・方法】

【一次試験】 八月十九日(日)

試験は、教養試験(公務員とし
 て必要な教養試験・適性検査・作
 文)と、体力試験(消防職員とし
 て必要な基礎体力)について検査
 します。

※場所及び時間などの詳細は、受
 験者に別途通知。

【二次試験】 九月上旬・中旬

場所及び時間などは、一次試験
 合格者に別途通知。口述試験と身
 体検査をします。

【受験手続き】

十日町地域消防本部や同消防西
 分署などに備え付けの受験申込書
 に、最終卒業学校の成績証明書を
 添付し、十日町地域消防本部総務
 課に提出してください。

【申込書の受付期間】

七月三十一日まで(郵送の場合、
 消印は七月三十一日まで有効)

【申込書の提出】

十日町地域消防本部総務課

※申込書提出先・問い合わせ先

〒948-0036

十日町市大字北新田一番地一〇

(☎57-15566(直通))

社員募集

㈱まちづくり川西では、社員・
 パートを次により募集します。

【募集人員】

社員 若干名

パート 三〜四人

【募集期間】

七月十日から三十一日までに履
 歴書必着

【応募資格】

平成十三年四月一日において二
 十歳以上五十歳未満の者で川西町
 在住又はUターン希望者。会計事
 務経験者優遇(要普通免許)

【職務内容】

一般事務及び温泉施設管理業務
 (二交代制による変則勤務)

【採用日】

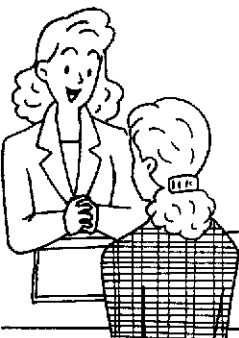
社員 平成十三年九月一日

パート 平成十三年十一月一日

【勤務先】

㈱まちづくり川西

※その他 詳しくは、㈱まちづく
 り川西(☎61-1515 担当高
 橋)まで。



里創プラン 通信

22

大空の芸術に チャレンジ しませんか

大地の芸術祭プレイベント 凧作り&凧揚げ

2003年に開催される第二回大地の芸術祭のプレイベントとして、芸術家を招いて凧作りのワークショップと凧揚げが行われます。

凧作りを指導する芸術家は、ジャクリーン・マティスさんというフランス生まれの女性作家で、凧を使って「スカイワーク」という活動を続けている第一級の作家です。

凧揚げというと日本人にも親しみ深いものですが、世界のトップアーティストと交流しながら、世界でただ一つの自分だけの凧を作ります。翌日、自作した凧がいつせいに揚がっていく光景は壮観で、特に子供たちにとっては、得難い経験となるでしょう。夏休みの思い出にぜひ参加してみませんか。

凧作り

■日時 八月十日(金)

■午後一時三十分～四時三十分

■会場 十日町市南中学校体育館

■対象 主として中学生と小学生高学年ですが、どなたでも参加できます。

■持ち物 上履き、はさみ、絵筆

■その他 絵の具での着色作業があるので、汚れても良い服装でおいでください。

凧揚げ

■日時 八月十一日(土)

■午後一時三十分～三時三十分

■※雨天の場合は翌日に延期

■会場 信濃川河川敷、妻有大橋下

■対象 前日の凧作りワークショップに参加した方

■持ち物 製作した凧、帽子、水筒、タオル

■その他 炎暑の中でのイベントとなりますのでご注意ください。

◎申し込みは七月三十一日(金)までに、開発課地域政策係 ☎68-3111(内線311)まで。

「第2回・大地の芸術祭」の 作品づくりにも 参加しませんか!

平成十五年夏に開催を予定している「第2回・大地の芸術祭」で作品制作する場所を視察するため、まもなく国内外のアーティストたちがやってきます。

実行委員会としては、前回の作品づくりに関わった多くの方々が「楽しかった」「いい思い出をもらった」という感想をいただいたことから、今回はより多くの方々から参加してもらいたいと考えています。

希望者は、役場開発課に備え付けの応募用紙に必要事項を記入し、七月二十三日(月)までに開発課まで応募ください。

募集する対象

- ①ここに作品を作ってほしい、という集落、団体(概ね十人以上)
- ②アーティストと一緒に作品を作りたい、という集落、団体(概ね十人以上)

※今回募集するのは、作品制作の候補地です。アーティストが視察を経て構想し、場所を決定していきますので、必ずしも実現されるとは限りません。

●応募・問い合わせ先
開発課地域政策係 ☎68-3111
1(内線311) ☎68-3828

新しい千手温泉は、どんな建物?

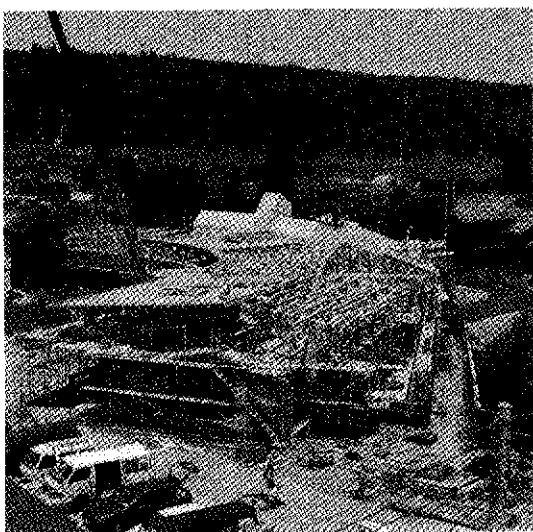
工事現場からの報告 No.4

三月から続いたコンクリート工事は、浴室部分を最後に概ね終了し、現在は木工事を中心に工事が進んでいます。

コンクリートの柱の上に、一本当たり約二トンの重さの集成材ト



約3mの柱の上からコンクリートを流しこんでいる様子。空洞ができないように一本ずつ慎重に作業します



木組みの美しい曲線をえがく屋根

ラスをのせて大きな屋根をつくる工事は、今回の工事の中で最も難しいもので、その準備にも長い時間を費やしました。柱の上に全てのトラスがのった時は、感動的な瞬間でした。

このようにしてできた大きな屋根の下には、温泉を楽しんだあと、のんびりとくつろげる、高い天井でひろびろとした空間の大広間や、陽だまりラウンジを南に面してつくります。

大きな屋根には融雪装置を設置し、雪を融かします。また、温泉の熱源を暖房や給湯、消雪に利用する設備の工事もいよいよ本格的に始まります。

※7月7日におこなわれる「屋根まつり」の様子は、次回にお知らせします。

信濃川の増水に、

ご注意ください！

JR東日本 信濃川発電所

本格的な夏を迎え、水による事故が多くなる季節となりました。

JR信濃川発電所では、河川における水難事故防止のため、宮中取水ダムから小千谷市千谷島までの信濃川沿岸にダム放流警報用サイレン・スピーカーを設置してあります。ダムから水を放流するときには警報しますので、早めに安全な場所に退避してください。

なお、サイレン・スピーカーに気付かなくても増水してきたら急いで退避するようお願いいたします。

次のようなときは、増水が早いので十分注意してください。

- ▼台風などによる集中豪雨で河川が増水し、ダムから放流するとき。
- ▼発電所の設備が故障し、調整池（浅川原・山本・新山本）の余水路から放流するとき。

▼次の期間についても、ダムからの放流量が通常より増加しますので、昼間水遊びをしているときに特に注意してください。

- ・七月二十日～八月三十一日
- ・十月一日～十一月九日

※子供だけの川遊びは非常に危険です。危険な遊びを見かけたら一声注意して、子供を水の事故から守りましょう。

7月21日・22日 川口まつり

フリーマーケット

参加者大募集

七月二十一日（土）、左記よりフリーマーケット出店者を募集します。古着、子供服、雑貨、手作り品などなんでもOK。サークル活動などの資金源にいかがですか。

- ◆日時 七月二十一日（土）午後六時三十分～九時三十分
- ◆会場 川口町役場前お祭り広場
- ◆参加料 三〇〇円

※食料品や動物などは、出店できません。

◆募集期限 七月十三日（金）

◆申し込み・問い合わせ先 川口まつり協賛会事務局（川口町役場企画商工課） ☎0258-89-3112

計画外流通米は届け出が必要です

生産者が消費者や販売業者に直接米を販売するときは、食糧事務所にあらかじめ届け出ることが必要です。

この届け出は、米の流通量や流通実態を把握するために必要なもので、届け出用紙は農協や役場農林課にあります。

また、郵送やFAXによる届け出も受け付けています。

《届け出先》

農林課振興係 ☎68-3111
（内線332） 函68-3828

海上保安大学校・海上保安学校生を募集します

1 受付期間

学校学生 7月26日（木）～8月9日（木）

大学校学生 8月30日（木）～9月11日（火）

2 試験日

学校学生

1次試験 9月23日（日）

2次試験 10月18日（木）

3次試験 12月13日（木）～18日（火）

※第3次試験は航空課程のみ

大学校学生

1次試験 10月27日（土）

2次試験 10月21日（金）

■受験手続・問い合わせ先

第九管区海上保安本部総務部人事課 ☎025-244-4151

（内線213）フリーダイヤル0120-444-576

生涯学習だより

④

「中国卓球交流・王コーチ ジュニア卓球指導」

中国黒龍江省から、卓球指導者として王翔宇コーチを招聘し、はや四年目となりました。

中国との卓球交流をすること

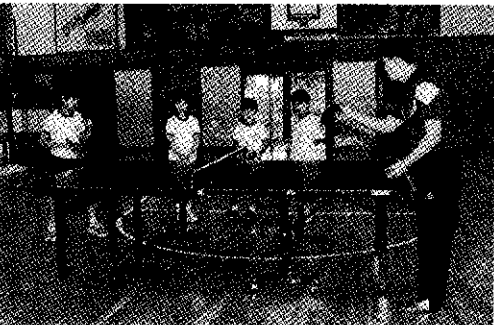
で、各小学校では卓球に興味を示す児童が増えているようです。

ジュニア卓球教室は、昨年まで

千手小学校児童と川西中学校卓球部員を主体に開かれていました

が、本年度から全小学校において実施されています。

先般の中国卓球交流団の各小学校における交流会の中でも、卓球の実技披露が行われ、同年代児童の技術の高さに興味津々で、目を



ボールを見つめるまなざしは、真剣そのもの

見張っていました。

初めてラケットを持つ低学年の児童は最初は尻込みをしていましたが、たくさんの児童が練習に加わると、我も我もと中国の児童に腕の振り方を習うなどして練習に加わっていました。

交流団コーチのハルピン体育学院の姜教授の話では、中国で全国的な選手になる子は、小学校一年生から練習をしているとのことでした。

来町した児童も、「全国的な選手になりたい」というしつかりした目標をもち、強い意志が感じられました。

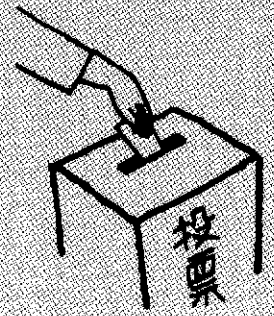
二〇〇九年（平成二十一年）には新潟県において国民体育大会が行われます。現在、川西町のジュニア卓球教室参加者は、四、五、六年生を主体に全小学校で三十六人。もしかするとこの大会に、新潟県を代表する卓球選手として、ジュニア卓球教室から活躍する選手が出てくるかもしれませんね。



川西町議会議員一般選挙日程

- 《立候補予定者説明会》 ●日時：7月17日(火) 午前9時～
 ●場所：地域活性化センター 第1研修室
- 《立候補届受付日》 ●8月7日(火)
- 《投票日》 ●8月12日(日)

選挙は政治に参加できる最大のチャンスです。投票日には忘れずに、きれいな一票を。



かわいし俳壇

高崎正風選

- ところととと琥珀に古りし梅酒かな
 みつ豆の妻とつき合ひ心太
 勿体なし紫陽花寺に我一人
 練馬区 須藤 遊人
- 水番の筵丸めて寒き止めし
 水番の堰の深さに手占ずりぬ
 水番に降る雨の日のゆとりかな
 霜条 星名 星光
- ぞつくりと株の増えぬし青田かな
 老妻の心込めたる笹粽
 山野田 藤田ひろ志
- 初蟬や法事終りし寺寂と
 柔らかき畦を踏みつつ岸を摘む
 田中町 石沢 澄代
- 洗濯の物乾す苦勞梅雨つづく
 洋傘を回し来る子や梅雨晴間
 小白倉 田中 優美
- 老農に田植機びたと直進す
 食べ頃と思ひつ蒔は花咲きぬ
 上町 高橋 願似
- 深緑の句碑公園を散策す
 寺の山友と連れ立ち句碑巡る
 霜条 蔵品ハツエ
- 笹の葉に包む団子を握りけり
 手を振って別れる山の夕焼ける
 大倉 中條 石平
- サクラランボ終戦直後ふとよぎり
 去年買いしあやめの花の咲きにけり
 綾瀬市 野沢ますえ
- 燕来し車庫のシャッター開けしまま
 土手歩く楽しみ増えぬ合歓の花
 野口 村越 由喜
- 夏の蝶山の墓標に音もなく
 過疎の村とはわびしくて茗荷竹
 足立区 涌井ハル子
- 水玉の模様若き更衣
 筒の男盛りの香り持つ
 新町新田 若山 向山
- 食べるよりもぐらしみの茄子胡瓜
 梅雨空を眺めて今日の俳句書く
 八王子市 松浦 サク
- 夕映えに明るき町の青田かな
 六月や朝より白き山の雲
 元町 田畑 吉治
- 芽の色をしてありまきの集いぬし
 あと十年生きんと思ふ挿木かな
 中屋敷 金子 鉄平
- 燕の子湯宿の客の瞳を集め
 今年またちまきを結びて恙なく
 小白倉 江口みゆき
- 初もぎの茄子と胡瓜を御仏へ
 父と子のキャッチボールに風薫る
 岩瀬 登坂伊智子
- 《お願い》投句は月末必着を厳守
 し、月末が日・祝日のときは、そ
 の前日を日途にお出しくださるよ
 う、お願いいたします。

休日救急医

- 7月15日 山口 医院
 (下条) ☎55-2003
- 〃 上村 病院
 (中里村) ☎63-2111
- 20日 庭野 医院
 (寿町) ☎52-2711
- 22日 田中外科医院
 (田中町) ☎52-2403
- 〃 津南 病院
 (津南町) ☎65-3161
- 29日 たかき 医院
 (土市) ☎58-2361
- 8月 5日 本町クリニック
 (本町3) ☎50-1160
- 12日 小林内科病院
 (中条) ☎52-7155

見直しましょうあなたの食生活

食事は、必要な栄養を体内にとり入れるために欠かせない、日常生活の中で重要なものです。今、私たちがとり巻く「食環境」は、いつでも、どこでも、何でも食べられる「飽食の時代」。しかし、好きなきに好きなきを好きなだけ食べていては、肥満や高血圧、動脈硬化を招き、生活習慣病になりかねません。いろいろな種類の食品をとって栄養のバランスを整え、生活習慣病の誘因となる肥満などの解消につとめることが大切なのです。

食生活の問題点

① 動物性脂肪のとりすぎ

食生活の欧米化に伴う脂肪のとりすぎは動脈硬化、高脂血症、心臓病などを招く要因になります。特に魚以外の動物性脂肪のとり過ぎに注意しましょう。魚や植物性脂肪を適量とりましょう。

② 塩分をとり過ぎている

知らず知らずにとり過ぎてしまう塩分ですが、とり過ぎは高血圧の原因になり、心臓病、脳卒中の誘因になります。一日にとる量は十割以下を目標に、新鮮な食材を使って素材の持ち味を生かしたり、酸味や香辛料を上手に利用するなどして減塩しましょう。

③ 食物繊維が不足している

食物繊維は、便通をよくし腸内をすっきりきれいにします。大腸がんや糖尿病などの生活習慣病予防にも、食物繊維を含んだ野菜、芋類、きのこ類、海藻などの食品を積極的にとりましょう。

④ カルシウムが足りない

カルシウム不足は骨粗しょう症の原因となり、転倒・骨折しやすさという最悪のコースにつながりかねません。子どもの頃からカルシウムを十分にとることが重要です。牛乳、乳製品、小魚、海藻などの食品を積極的にとりましょう。



いろいろな食品をたべましょう

毎日の食事に、主食、主菜、副菜がそろっていますか。いろいろな食品を食べることが栄養のバランスを良くします。

住民検診もはじまっています

その結果から、食生活で改善できるものはないか見直してみよう。

戸籍の窓から

高砂―田滿に

(金子和弘 元町
高橋由香 十日町市
清水俊治 田中町
浜崎佐代子 田中町)

昇天―こめい福を折る

滋野 一郎 73 (康二) 野口
小海 ノヤ 87 (正雄) 小根岸
村山 奈央 18 (利夫) 高原田
山田千加子 58 (公三) 仁田

うぶ声―おすこやかに

小林 キミ 89 (弘) 下平新田
武田 フミ 83 (忠平) 高原田
南雲 昇 72 (弘) 中仙田

永井 暫良 政浩 木落
藤巻 心 慎之介 発電所通り西

小林 崇 純子 元町

中川 波葵 直也 みのり団地

羽鳥 希美 正徳 仁田

(6月1日、30日届け出順)

アオガエル

表紙の写真でも紹介した、モリアオガエルの産卵・ふ化が見られるのは町内でも山あいの水辺だ。実は、このカエルの得意技は木の上に卵を産むこと。表紙の写真の田んぼの脇にはサワグルミの木があって、その枝の先、葉の先端に卵がたくさん産み付けられている。その数およそ三十。



ひとつのかたまりは、夏みかん

くらいで、乳白色の泡状になっている。この中に黄色っぽい小さな卵が二百〜五百個ほど入っていて、泡の中でおたまじゃくしがかえると、卵塊の底が破れて水の中にポツチャン!という仕組みになっている。実際、木の先は水際ぎりぎりしか張り出しておらず、水に落ちる葉の先を見切って産卵している。すごい知恵、というか本能だと思つづく感心する。

実は、草刈り前で、あぜに卵を隠す草があったときに産み付けたのが表紙の写真の卵で、草刈り後に産み付けたのが木の上の卵だ。やっぱり、カエルも、木音は楽しみたいようだ。

ちいさな展覧会

151

上野小学校



▲「さんぽのみち」1年生 小柳美紅さん



▲「長い道」6年生 金子竜美くん



▲「空の国へようこそ」3年生 小海南さん



▲「汽かん車めいろ」2年生 押木聖弥くん



▲「田植えのあとに」5年生 丸山巧くん



▲「楽しかった遠足」4年生 入澤ちあきさん

(8月号は橘小学校です)